

# らんぶ

NO. 21 2013年2月1日発行

<発行所>

始良伊佐地区事務職員協議会事務局

〒899-5403

始良市増田399 始良市立三船小学校

TEL 0995 (65) 2371

FAX 0995 (65) 2835

## ～退職予定者挨拶～

「選択と洗濯」

三体小学校 前田潤一

人生は、選択の連続である。私は、小学校の頃数学が大の苦手だった。数学と無縁の職業など無いが、事務という、そのものずばりの仕事に就くなど夢にも思わなかった。

生来怠惰な性格の私は、他の学生のように熱心な就職活動もしていなかった。大学卒業後の進路は二つしかなかった。最終的に学校事務職員の道を選んだ。

最初の10年間ぐらいは、毎日楽しいのだが仕事自体は向いていないのではと自問の日々だった。当時、泳げたいやき君という歌が大ヒットしていた。私は、♪毎日毎日僕らは事務室で、数字に埋もれてイヤになっちゃうよ♪などと自作の替え歌を歌いながら仕事をしていましたが、最後におじさんに食べられるのだけはイヤだなあと思っていた。

そのうち、だんだんと学校事務の仕事が面白くなってきた。これといったきっかけは思い当たらないが、よき先輩方の導きによるところが大きいと自分なりに考えている。

機会費用という経済用語がある。「他の選択肢を採用しなかったことによって失われる利益」のことである。早い話、今この拙文を読んでいるあなたが、他のことをしていれば得られであろう利益ということである。この言葉を知らない人でも、日常的にそのことを考えながら生活しているはずである。

私事で申し訳ないが、私の愛車はついこの前までH社のジャズという3100ccディーゼルターボ4WDであった。超レア車で、ガソリンスタンドの人からさえ「初めて見ました」と言われたこともあった。長年連れ添ったが、昨年末私より一足先に引退した。私と同じで、あちこちにガタが来て**勤続疲労**を起こしていたのである。離島での単身赴任生活も共にし、愛着もあったのでどうしようかと迷っていた時、D社のテレビCMを見た。

弁護士「最近ガソリンスタンドに行かなくなったそうですね。」被告人「本当にリッター30kmなんです。」原告(Gs店員)「嘘だ。ずっと待っていたのに。」

はたと機会費用が頭に浮かんだ。今後の諸経費を考えた時、惜別の情を抑えてこれに決めた。排気量は一気に約1/5になり、乗り心地など比較の余地もないが、満足している。

私の38年間の事務職員人生も同じで、今は学校事務職員という仕事を定年まで全うできたことに誇りを

感じている。

学校事務は、学校の経済活動をつかさどる重要な仕事である。しかし、学校ではしばしば予算を度外視した教育論議がまかり通る。そんな時こそ事務職員の出番である。お金は公私を問わず、必要な時、必要な所に可能な金額で使われてこそ生きてくる。そうでないお金は、無駄金や借金となる。

私は年度当初に校長と語り、学校経営方針の中に必ず予算に関する項を設けてもらっている。理由は簡単、銭金のことを考えない経営なんてあり得ないからである。

長々と駄弁をふるったが、紙面の都合もあるので、この辺りで終わりにしようと思う。

学校事務職員制度はいつの時代も平穏な時はなかった。今も大波が押し寄せている。これまでもそうであったように、これからも幾多の困難を乗り越えていけると確信している。

そして「らんぶ」の火を赤々と灯し続けてほしいと願う。

私は、これから自分の人生をゆっくり洗濯しようと思っている。



協力をし、ランプのように、未来を照らしていきましょう。

## ～共同実施について～

地区内で共同実施について伊佐市と始良市で動きがあったようです。参考にして下さい。

(伊佐市)

伊佐市菱刈地区支援室について

菱刈中学校 東郷孝司

平成23年3月1日に、菱刈中学校区の学校事務共同実施のための準備委員会(仮称)が開かれ、準備に1年かけて平成24年4月1日より共同実施を行うとの提案がありました。しかしその後、1回も準備委員会は開かれず平成24年度を迎えました。この間、伊佐市事務職員会役員の方々は、運営規定や専決規定等について教育委員会と話を進めていきました。教育委員会は、伊佐市校長会において、平成24年4月1日から菱刈中ブロックは、共同実施の本格実施を行うと説明しましたが、事務職員には何の話もなく6月初旬に突如辞令が発令されました。(5校中4校)その後、9月6日に「学校事務の共同実施」全体説明会が開かれ、9月20日に菱刈中校区学校事務支援室共同実施協議会が行われ、9月27日に第1回菱刈地区学校事務支援室を開催しました。その後、月2回の計画で実施しています。

支援室での業務は、主に認定事務・相互点検を中心にし、また、各学校での業務報告等を行って情報の共有を進めています。

今後は、伊佐市の他ブロックも平成25年度から実施されるので、連携を取りながら県下各地区での研究・実践を相互に交流する中で、支援室の充実を図っていきたいと思っています。

## (始良市)

始良市蒲生地区学校事務支援室の現状  
蒲生小学校 是枝 実

### 1. 発足に向けての概略

平成23年度において、市学校事務職員協議会が共同実施組織の構築の準備をするために発足しました。この段階では始良市内はどこの地区でも準備段階として実施をする相互支援室の経験が無い状態でしたが、始良市の中で蒲生地区において24年度本格実施することに決定して、市事務職員協議会の了承、市教委総務課、さらに始良・伊佐教育事務所承認を受けて、24年4月から発足することとなりました。

### 2. 24年度当初の状況

4月1日発令の地区内連携校の兼務発令辞令が実際には5月の末に届きました。よって4月から5月にかけては支援室準備の研修会を2回ほど行い、各学校の状況を確認している状態でした。

しかし年度当初から本格実施を行えなかったことは、実務を処理する上で助かる場所もありました。年間計画の決定についても再度確認できただけでなく、前年度の準備期間中に諸認定で使用する起案書や各学校で違いがあった認定関連の添付書類の内容・様式等を統一するための話し合いをする有意義な期間になりました。4月から本格実施するなら全ての準備を終えて臨まなければならないが、初めてのことでどこまで準備しなければならないか分かる者がなかったため、準備が十分ではなかった。

4月から本格実施を行うために、地区共同実施協議会の開催に向けて、3月中に連携校学校長と事務職員及び市教委の間で日程調整を行わなければなりません。

本格実施を行うには、県下の他の市町村も入念な準備をしていたようです。

本来は、本格実施を行うには相互支援での試行を1年以上実施して、お互いに連携をはかっておくことが必要です。加えて支援室内での役割分担まで決めて臨まなければなりません。

### 3. 蒲生地区学校事務支援室のスタート

#### (1) 共同実施協議会

平成24年6月15日、連携校学校長と連携校事務職員及び始良市教育委員会の参加をいただき地区共同実施協議会を開催いたしました。そうして蒲生地区の学校事務支援室が発足しました。会議においては、今まで3人で話し合ってきた実施計画書案を説明し、共同実施協議会で承認をもらいました。

#### (2) 定例学校事務支援室

試行もない状態での発足で、当初は手探りの状態で進めてきました。その中で、認定の起案書も添付書類も共通化をはかり、認定事務を進めています。

支援室の中で実際の取組をした結果、計画の通りに行かない業務もありました。しかし現在はそれに変わる業務に取り組んでいます。

#### 問題点1

蒲生地区支援室には3人しかいない状況です。分担もそれぞれ複数抱え、一人ひとりの負担も重くなり、なかなかうまく行なえない面も抱えています。

#### 問題点2

始良市内で蒲生地区だけの本格実施ですから、支援室間の情報交換及び連携がないことです。

これまで反省する面もありましたが、多くの学び改善をしてきました。1年目でしかも3人という状況ですが、現状を肯定してこれからも支援室業務を行っていきます。

## ～ボーリング大会お礼～

去る11月22日に開催したスポーツ交流会（ボーリング大会）へ、20名弱の参加がありました。

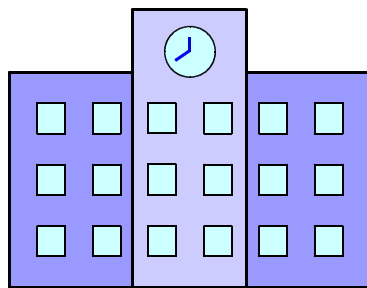
団体戦と個人戦を行い、大いに盛り上がりました。結果は団体戦1位が前田さん（三体小）上捨石さん（横川中）松山さん（牧園中）の霧島市北部チーム、個人戦1位が前田さん（三体小）・2位が宮後さん（牧之原小）・3位が上捨石さん（横川中）でした。成績は2ゲームのトータルです。

参加して下さった皆様、お忙しい中時間を割いていただきありがとうございます。そして来年は更に盛り上げていけたらと思います。

## ～連絡事項～

いよいよ異動時期が近づいて来ましたが、この時期仕事に追われてつい忘れがちになりますが、地区事協から退職者（期限付満了含む）への給付金があります。該当者は速やかに各ブロックの理事まで連絡して下さい。各理事は山田中まで連絡をお願いいたします。

まもなく県事協の「諸手当認定マニュアル・実務手引書」が、学校に配付されると思います。地区事協からの学校配置用は、学校備付ですのでよろしくお願い致します。



\*2013年が、皆さんにとってよい年でありま  
すように。

## 編集後記

挨拶をいただいた三体小・前田先生をはじめ、退職をされる先生方、今までよき先輩として、数多くのことを教えていただきありがとうございます。第2の人生をお体を大切して頑張ってください。

学校事務の共同実施が地区内でも動き出しています。「らんぷ」が少しでも情報の共有につながればと思います。

忙しい年度末が来ます。お互い体調には注意しましょう。

文責 針持小 上西

